

かがやき

令和6年 9月20日(金)
多摩市立連光寺小学校
特別支援教室 かがやき学級
学級通信 NO. 8

小集団で「成長」していく関係性

前期の後半を迎えて折り返しの指導が始まりました。夏休みを経て、教室においても成長に伴う子供たちの関係性にさらなる成長が始まっていく時期であると思います。「かがやき」における小集団指導（グループ学習）においても、この時期から少しずつの子供たちの変化を感じています。中でも、授業開始の時間にメンバーが揃っていないとき「ちょっと声かけてきてくれる？」と頼むと、パツと隣のクラスまで呼びに行ってくれる子がいたり、以前はすぐに反目し合って険悪なムードになっていた子同士が、カードゲームの時に、なにやら顔をくっつけてひそひそ先生を負かす作戦を立てている場面がでてきたりして、お互いに対する「意識」は少しずつ高まってきているようです。授業の最初に、最近の自分の調子を発表し合う場面でいつも調子が良いということを発表するA君に「Aはいつも調子が良いんだ。ずるいぞ」とお約束のようにツッコミを入れるB君の発言にみんなで笑ったりします。ほんのちょっとした場面ではありますが、「集団」でいることで変化していく「意識」があるのだなあと思いつつ、かがやき教室での一場面に関係性の「成長」を感じています。



「支援教室という「場」を 子供たちにどう知ってもらうか」

9月。まだまだ暑い日が続いています。熱中症アラートが出て校庭でも遊べない日があることから、教室開放している（不定期ですが…）かがやき教室にカードゲームや読書をしにくる子が多く、「今日空いてますか？」「やったあ！」と言っています。「お互いに誘い合って、たのしく遊ぶこと！」と声をかけながら見守っています。カードゲームは支援教室で使っているものを必要に応じて貸し出します。数名のグループができ、「～しよう！」「いいよ！」と遊びの時間が始まります。学校内の教室の位置関係で、主に低中学年の子が多く来室します。この教室開放は休み時間の「場」の提供という一面もありますが、より多くの連光寺小の子に「かがやき教室」の場所や様子を日常的に知ってほしいという、もう一つの側面もあります。休み時間等で普段から学校のどのような場所に「かがやき教室」があり、どのような雰囲気の間なのか子供たちがイメージできることで、「なんとなく」の感覚で支援教室への理解にもつながっていくことを期待しているところです。

～お知らせ～

●個別指導計画第2期の配布をしました

中身をご確認いただき、ご家庭にて保管をお願いいたします。封筒はご返却ください。

●秋休み明けの指導について

秋休み明けは10月1日(火)から始まります。よろしく願いいたします。